

第37期 (2017年6月期)

第3四半期連結業績説明資料

2017年 5月

ドン.キホーテ HLDGS

専務取締役 兼 CFO 高橋 光夫

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-19-10

TEL 03-5725-7588 FAX 03-5725-7024

<http://www.donki-hd.co.jp/>

e-mail : ir@donki.co.jp

節約消費を制したドンキホーテHD！！

16年7月～17年3月期

ドンキホーテHDが8日に発表した2016年7月～17年3月期の連結決算は、消費者行動や心理の機微を的確に捉えた施策が支持されて増収増益。好調な決算となった。

家計消費支出のマイナス月が久しく続いており、国内消費はパツとしない。お客さまの生活実態に寄り添って、個店毎に柔軟に適應する同社の営業施策は、顧客支持率の高さで評価される。

好調な既存店に加えて、居抜き物件を中心に新規出店は予想を上回る22店と順調なペースで進んでいる。

インバウンド消費の下支えも加わった売上高は前期比8%増の6,200億円、営業利益は6%増の371億円、純利益は36%増の270億円と、いずれも過去最高を更新した。

巷で話題の人手不足。積極的な事業活動を進める同社も例外ではないが、大きな山場は越えて安定走行期に入ってきた。

「攻めの経営」を貫く一方で、組織改革や業務効率の改善を並行して進め対策を講じてきたが、他社より先行した時間以上の果実が生み出されている。

「攻め」と「守り」をバランスよく取り込んだ巧緻な経営活動の実践は、何よりも実績が雄弁に物語る。ますます同社から目を離せない。



2017年6月期3Q 決算概況

- ✓ エグゼクティブ・サマリー
- ✓ 決算業績概況
- ✓ 事業別業績概況
- ✓ 主な資産、負債、純資産の状況
- ✓ セグメント情報
- ✓ キャッシュフロー、設備投資の状況

ドン・キホーテグループトピックス

- ✓ 出店状況&ハイライト情報
- ✓ 決算レビュー
- ✓ 月次販売の状況
- ✓ プライベートブランド商品の状況
- ✓ インバウンドの状況
- ✓ 上場子会社の状況

2017年6月期 通期業績予想

- ・本資料における記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。
- ・本資料中、ドンキホーテHD(7532)は「ドンキホーテHD」または「DQHD」、ドン・キホーテ、または同店舗は「DQ」、日本アセットマーケティング(8922)は「JAM」及び持分法適用関連会社のアクリーティブ(8423)は「ACR」と表示している箇所があります。
- ・前年同期より「企業結合に関する会計基準」を適用しておりますが、本資料に記載している勘定科目等は、意を損ねることがない程度に簡略した表記をしている箇所があります。

1. 3Q累計連結業績概況

遠慮がちに歩む消費マインドは消費支出を低迷させており、天候不順も当たり前のように訪れるが、「バラエティさを伴ったディスカウント力」で、その真骨頂を発揮！！

- ▶ 足踏みと縮小を続ける消費環境に対して真摯に向き合い、「数と利の段階的なバランス」を意識した「攻めの経営」を実施。家計エンゲル係数の上昇抑制をサポートする「ディスカウント力」が支持され、ヘビーユーザーが多く存在。広告宣伝力に頼らずとも業績は安定成長。
- ▶ インバウンドビジネスは順調。一過性のブームに踊らされず、訪日客のニーズに地道に向き合った対応力がますます進化。DQ体験が「コト消費」を具現化するスポットとして、SNSで話題になり、超人気店に。買い物ディスティネーションとしての「リアルドン・キホーテ」の知名度はバツグン。
- ▶ 販管費は積極的な新規出店に係る諸費用や自然増費用を除くとコストコントロールが効いており、組織改革や業務改善などの進捗に伴う成果が出現。さらに上場子会社の持ち分変更や固定資産売却など一過性の事象が発生したが、増収増益基調はいささかも揺るぎなく進行。
- ▶ 当3Q（17年1月～3月）は、節約志向がますます高まる消費環境が続き、営業日数も減少。さらに寒暖差が激しい天候要因は、「商売の神さま」が季節商品などの販売力を試そうとする試練か！？生活必需品のプライスリーダーとしての信頼感は大きく、顧客支持率をますます上昇させて着地！
- ▶ これらのことから、3Q累計連結業績は通期業績予想に対する進捗率も順調に推移し、売上高6,200億円（前期比8.9%増：進捗率75.6%）、営業利益371億円（同6.3%増：同82.5%）、経常利益360億円（同2.1%増：同79.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益270億円（同36.7%増：同98.1%）と増収増益を達成し、予想を上回る推移！！

2. 通期業績見通し

業績予想を上方修正して「28期連続増収増益」を見込む！

- ▶ 通期業績の見通しは、当期純利益予想を上方修正した前回予想（2017年2月6日公表）を再度見直して、売上高8,220億円（前期比8.2%増）、営業利益455億円（同5.4%増）、経常利益448億円（同2.3%増）及び親会社株主に帰属する当期純利益315億円（同26.3%増）に修正して、28期連続増収増益達成を見込む。

3Q累計業績サマリー

ドン・キホーテ HLDGS

【期間：2016年7月1日～2017年3月31日】

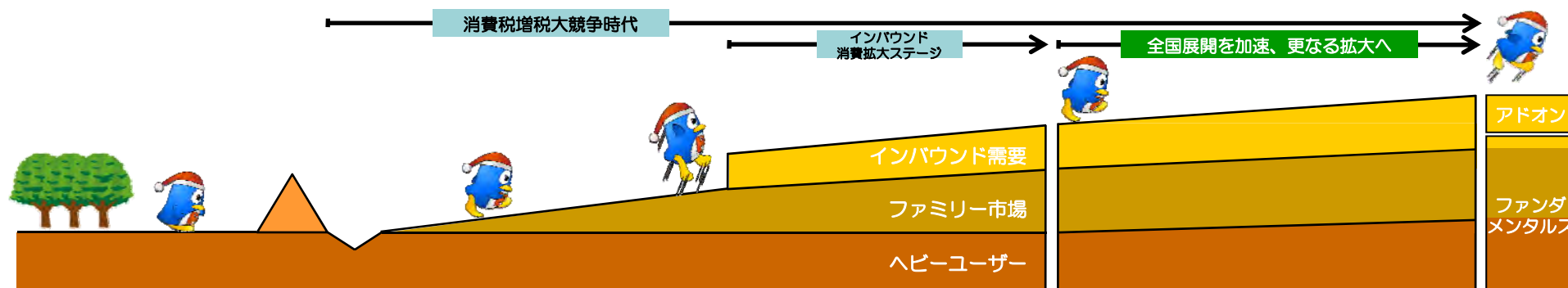
(単位：百万円)

| 連結実績 | 当3Q累計実績 | | | | 前3Q累計実績 | | 通期業績予想 ^{※1} | |
|-------|------------------|--------|--------|-------------------|---------|--------|----------------------|--------|
| | 金額 ^{※3} | 百分比 | 前期比 | 進捗率 ^{※2} | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 |
| 売上高 | 619,987 | 100.0% | 108.9% | 75.6% | 569,547 | 100.0% | 820,000 | 100.0% |
| 売上総利益 | 163,905 | 26.4% | 107.7% | 75.2% | 152,134 | 26.7% | 218,000 | 26.6% |
| 販管費 | 126,767 | 20.4% | 108.2% | 73.3% | 117,197 | 20.6% | 173,000 | 21.1% |
| 営業利益 | 37,138 | 6.0% | 106.3% | 82.5% | 34,937 | 6.1% | 45,000 | 5.5% |
| 経常利益 | 36,006 | 5.8% | 102.1% | 79.1% | 35,249 | 6.2% | 45,500 | 5.5% |
| 当期純利益 | 26,977 | 4.4% | 136.7% | 98.1% | 19,732 | 3.5% | 27,500 | 3.4% |
| 1株利益 | 170.59円 | | 136.7% | 98.1% | 124.83円 | | 173.88円 | |

※1. 通期業績予想は、2017年2月6日に当初予想（2016年8月17日公表：売上高8,200億円、営業利益450億円、経常利益455億円、純利益268億円）を見直し、純利益予想を修正したものであります。

※2. 進捗率は通期業績予想に対する進行割合を表しております。

※3. 当期中に分離したACR事業に係る損益に計上されている概算額は、売上高10億円、営業利益7億円であります。



3Q累計連結業績概況コメント

ドン・キホーテ HLDGS

▶ 連結売上高：6,200億円（前期比8.9%増）

顧客心理に寄り添い他社に先行して仕掛けた営業施策は、業界の「プライスリーダー」として確固たる地歩を固める！
インバウンド消費は、昨夏をボトムに客単価が反転し、新免税制度開始以来30ヵ月連続前年クリア中。
3Q累計期間におけるDQ既存店は2.3%増（真水1.9pt、免税0.4pt）。MEGA運営の長崎屋は3.0%増（同3.0pt）といずれも好調。

▶ 当3Q末店舗数：360店（前3Q累計末322店、前期末341店）

居抜き物件を活用した積極的な店舗拡大を推進。
新規出店22店（DQ8店、MEGA1店、New MEGA10店、ドイト2店、驚安堂1店）の一方で、建て替え及び移転を含む閉鎖3店。

▶ 連結売上総利益：1,639億円（前期比7.7%増）、同率：26.4%（同0.3pt低下）

節約志向が強くと現れた消費環境下において、比較的回転率が高い低マージン商品の販売促進を徹底。
リピート率上昇とシェア奪取による増収効果を実現し、一時的に「利」をトレードオフして「実粗利益高を獲得」。
さらに高額品を中心にメタボ在庫処分を促進し、在庫抑制は進む。
これらのことから総利益率は0.3pt低下したが、ACRが連結対象外になったことによる影響を考慮すると実質0.2pt低下。

▶ 連結販管費：1,268億円（同8.2%増）、同率：20.4%（同0.2pt改善）

積極的な新規出店に伴う人件費増は概ね予想の範囲内で進捗。
既存店については、組織体制の変更や業務効率の改善施策による効果が出現しており、販管費率は前期水準を0.2pt下回る。

▶ 営業外収支戻：11億円のマイナス

受取利息7億円、持分法投資利益5億円/支払利息8億円、債権流動化費用4億円、支払手数料22億円など。

▶ 特別損益戻：101億円のプラス

固定資産売却益77億円、関係会社株式売却益30億円/店舗閉鎖損失6億円など。

▶ これらのことから、営業利益371億円（同6.3%増）、経常利益360億円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益270億円（同36.7%増）といずれも3Q最高益を更新。

3Q累計連結業績概況

ドンキホーテ HLDGS

【期間：2016年7月1日～2017年3月31日】

(単位：百万円)

| | 当3Q (累計) | | 前3Q (累計) | | 前期比 |
|----------|----------|--------|----------|--------|--------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | |
| 売上高 | 619,987 | 100.0% | 569,547 | 100.0% | 108.9% |
| 売上総利益 | 163,905 | 26.4% | 152,134 | 26.7% | 107.7% |
| 販管費 | 126,767 | 20.4% | 117,197 | 20.6% | 108.2% |
| 給与手当 | 48,252 | 7.8% | 44,056 | 7.7% | 109.5% |
| 地代家賃 | 17,201 | 2.8% | 15,415 | 2.7% | 111.6% |
| 支払手数料 | 14,008 | 2.2% | 13,350 | 2.3% | 104.9% |
| 減価償却費 | 10,356 | 1.7% | 9,560 | 1.7% | 108.3% |
| その他 | 36,950 | 5.9% | 34,816 | 6.2% | 106.1% |
| 営業利益 | 37,138 | 6.0% | 34,937 | 6.1% | 106.3% |
| 経常利益 | 36,006 | 5.8% | 35,249 | 6.2% | 102.1% |
| 当期純利益 | 26,977 | 4.4% | 19,732 | 3.5% | 136.7% |
| 1株当たり純利益 | 170.59円 | | 124.83円 | | 136.7% |

3Q累計事業別業績概況コメント

ドン・キホーテ HLDGS

▶リテール事業5,995億円（前期比9.0%増）

「消費支出マイナス継続」、「エンゲル係数29年ぶり高水準」など、マクロ統計が厳しい消費環境を物語る中、価格優位性を発揮した生活必需品に対する支持基盤が拡大。商圏毎の競争状況に応じた価格と商品提案を行う「真正直な店舗運営」が、お客さまからの信頼度を高めて客数増を実現。

*「家電製品」531億円（同13.8%増）

好調なスマホアクセサリが牽引。人気アプリがモバイルバッテリーなどの付属用品の需要を喚起。ワイヤレスヘッドフォンなどのAV小物も伸長。

*「日用雑貨品」1,334億円（同14.3%増）

国内及び訪日客ともに、化粧品などの「日用消耗品」に対する人気が拡大して強い押し上げ効果を発揮。汗ふきシートや保湿クリームなどの季節商品は、気温の変化に比例して、高い伸び率を記録。

*「食品」2,034億円（同13.5%増）

チョコレートが牽引した菓子類は同部門の稼ぎ頭に。牛乳やパンなどの日配品や冷凍食品は、価格戦略が奏功。加工食品、米類及びドリンク類も貢献。天候不順が及ぼした青果の相場高は、MEGA店の優位性が際立ち支持率上昇。輸入品を中心とした精肉、多品種少量を実現した惣菜が好調。

*「時計・ファッション用品」1,217億円（同4.8%増）

インバウンド消費の商況変化により、高級時計は低調が続くが徐々に底打ち感が出始める。スポーツウェアなどのカジュアル衣料が急伸。機能性下着や服飾小物は安定的に推移した他、シューズやカバン類が堅調。

*「スポーツ・レジャー用品」411億円（同2.6%増）

エクササイズ用品及びキャラクター玩具の人気が高まる。テントなどのレジャー用品やパーティーコスチュームなどの季節イベント関連用品は順調に推移。

*「DIY用品」115億円（同2.8%減）

天候不順や低気温を要因として、園芸用品やエクステリア用品は苦戦するが、工具や防寒ワークウェアなどが貢献。リフォームやハウスクリーニングは着実に受注件数を確保。

*「海外（アメリカ）」269億円（同12.2%減）

菓子パンなどの日配品や寿司及び商品リニューアルを実施した弁当類が高成長を果たす。生鮮食品は、精肉の価格戦略が奏功して、中心にローカル客の囲い込みに成功。
（ご参考：当3Q 1USD=107.6円、前3Q=121.6円）

▶テナント賃貸事業155億円（同5.2%増）

積極的な新規出店が貢献し、商業施設事業及びJAM事業の収益拡大に寄与。

3Q累計事業別業績概況

ドン・キホーテ HLDGS

【期間：2016年7月1日～2017年3月31日】

(単位：百万円)

| | 当3Q (累計) | | 前3Q (累計) | | 前期比 |
|------------------------|----------|--------|----------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| リテール事業 ^{※1} | 599,517 | 96.7% | 549,928 | 96.6% | 109.0% |
| 家電製品 | 53,121 | 8.6% | 46,663 | 8.2% | 113.8% |
| 日用雑貨品 | 133,377 | 21.5% | 116,729 | 20.5% | 114.3% |
| 食品 | 203,394 | 32.8% | 179,251 | 31.5% | 113.5% |
| 時計・ファッション用品 | 121,728 | 19.6% | 116,207 | 20.4% | 104.8% |
| スポーツ・レジャー用品 | 41,128 | 6.6% | 40,087 | 7.0% | 102.6% |
| DIY用品 | 11,470 | 1.9% | 11,796 | 2.1% | 97.2% |
| 海外 ^{※2} | 26,936 | 4.3% | 30,667 | 5.4% | 87.8% |
| その他商品 | 8,363 | 1.4% | 8,528 | 1.5% | 98.1% |
| テナント賃貸事業 ^{※1} | 15,450 | 2.5% | 14,690 | 2.6% | 105.2% |
| その他事業 | 5,020 | 0.8% | 4,929 | 0.8% | 101.8% |
| 合計 | 619,987 | 100.0% | 569,547 | 100.0% | 108.9% |

※1. 「報告セグメント」については、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。

※2. 当3Q 1USD=107.6円、前3Q 1USD=121.6円

主な資産の状況

ドン・キホーテ HLDGS

(単位：百万円)

| | 17年3月 | 16年6月 | 増減額 |
|-------------|---------|---------|--------|
| 流動資産 | 219,333 | 195,977 | 23,356 |
| 現預金 | 74,059 | 42,894 | 31,165 |
| 商品 | 118,061 | 117,400 | 661 |
| 固定資産 | 410,372 | 364,591 | 45,781 |
| 建物等 | 116,017 | 108,114 | 7,903 |
| 土地 | 169,810 | 165,185 | 4,625 |
| 敷金保証金 | 39,185 | 35,645 | 3,540 |
| 資産合計 | 629,705 | 560,568 | 69,137 |

主な資産の状況

▶ **総資産：6,297億円**（前期末比691億円増）

主な増減要因は、現預金312億円増、受取手形及び売掛金11億円増並びに固定資産458億円増などの一方で、買取債権66億円減。

▶ **現預金：741億円**（同312億円増）

設備投資資金を長期性資金として調達。販売状況が好調に推移していることと併せて在庫抑制効果も出現して現金在高が増加。

▶ **商品：1,181億円**

（同7億円増、前3Q末比88億円増、8.1%増）

新規出店数22店に係る商品在庫が増加。既存店は一時期の在庫過多状態から調整が進む。

▶ **固定資産：4,104億円**（同458億円増）

当期中の新規出店22店及び次期以降の出店物件の獲得により、有形固定資産143億円増、投資その他の資産324億円増（うち貸付金124億円増）など。

主な負債・純資産の状況

ドンキホーテ HLDGS

(単位：百万円)

| | 17年3月 | 16年6月 | 増減額 |
|--------------------|---------|---------|--------|
| 流動負債 | 155,054 | 147,995 | 7,059 |
| 買掛金 | 81,054 | 70,194 | 10,860 |
| 短期負債 ^{※1} | 25,672 | 32,924 | ▲7,252 |
| 固定負債 | 201,203 | 168,026 | 33,177 |
| 社債 | 75,690 | 76,471 | ▲781 |
| 長期借入金 | 84,812 | 45,082 | 39,730 |
| 債権流動化に伴う 長期支払債務 | 21,164 | 26,876 | ▲5,712 |
| 負債合計 | 356,257 | 316,021 | 40,236 |
| 純資産合計 | 273,448 | 244,547 | 28,901 |
| 負債・純資産合計 | 629,705 | 560,568 | 69,137 |

主な負債・純資産の状況

- ▶ 負債合計：3,563億円（同402億円増）
主な増減要因は、買掛金109億円増及び有利子負債317億円増（短期性負債73億円減、長期性負債389億円増）の一方で、債権流動化に伴う支払債務57億円減など。
- ▶ 有利子負債：1,862億円
（同317億円増、依存率29.6%）
- ▶ 純負債：1,121億円（同5億円増）
- ▶ 債権流動化に伴う支払債務：283億円
（同57億円減）
ABL（Asset backed loan）により調達。
- ▶ ネットD/Eレシオ：0.41倍（同0.05倍低下）
- ▶ インタレスト・カバレッジ・レシオ：44.9倍
- ▶ 純資産：2,734億円
（同289億円増、自己資本比率40.3%）

※1. 短期負債 = 短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、1年内償還予定の社債

3Q累計セグメント情報（事業別）

ドン・キホーテ HLDGS

セグメント利益は、「リテール事業」197億円、
「テナント賃貸事業」125億円、「その他の事業」50億円！！

当3Q累計 セグメント概要【期間：2016年7月1日～2017年3月31日】※1

（単位：百万円）

| | リテール事業 | テナント賃貸事業 | その他事業※2 | 計 | 調整 | 連結 |
|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 外部売上高 | 599,517 | 15,450 | 5,020 | 619,987 | — | 619,987 |
| 内部取引等 | 374 | 14,890 | 7,081 | 22,345 | ▲22,345 | — |
| 計 | 599,891 | 30,340 | 12,101 | 642,332 | ▲22,345 | 619,987 |
| セグメント利益 | 19,673 | 12,520 | 5,009 | 37,202 | ▲64 | 37,138 |

前3Q累計 セグメント概要【期間：2015年7月1日～2016年3月31日】※1

（単位：百万円）

| | リテール事業 | テナント賃貸事業 | その他事業※2 | 計 | 調整 | 連結 |
|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 外部売上高 | 549,928 | 14,691 | 4,928 | 569,547 | — | 569,547 |
| 内部取引等 | 11 | 13,322 | 5,947 | 19,280 | ▲19,280 | — |
| 計 | 549,939 | 28,013 | 10,875 | 588,827 | ▲19,280 | 569,547 |
| セグメント利益 | 19,673 | 10,638 | 4,870 | 35,181 | ▲244 | 34,937 |

※1. 「報告セグメント」については、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。

※2. その他事業は「不動産事業」「マーケティング事業」「金融サービス事業」などであります。

キャッシュフロー&設備投資の状況

ドン・キホーテ HLDGS

(単位：百万円)

| 1.キャッシュフローの状況 | 当3Q | 前3Q | 増減額 | キャッシュフロー <営業CF> ▶税金等調整前純利益461億円、減価償却費118億円及び仕入債務の増加44億円などが増加要因となる一方で、固定資産売却益77億円、関係会社売却益30億円及び税金支払額128億円などが減少要因となったことから、429億円がキャッシュイン <投資CF> ▶出店に伴う有形固定資産の純増160億円、敷金保証金の差入れ純増31億円及び貸付金の純増124億円などにより、326億円がキャッシュアウト <財務CF> ▶長期借入金の純増260億円及び社債の純増61億円が増加要因となる一方で、債権流動化の返済61億円及び配当金支払35億円などが減少要因となったことから、210億円がキャッシュイン |
|---------------|---------|---------|--------|--|
| 期首残高 | 44,496 | 51,292 | ▲6,796 | |
| 営業活動CF | 42,850 | 25,156 | 17,694 | |
| 投資活動CF | ▲32,634 | ▲35,826 | 3,192 | |
| 財務活動CF | 21,042 | 23,498 | ▲2,456 | |
| 期中増減等 | 31,379 | 12,249 | 19,130 | |
| 期末残高 | 75,875 | 63,541 | 12,334 | |
| 営業活動CF+投資活動CF | 10,216 | ▲10,670 | 20,886 | |

2.設備投資の状況

| | 当3Q | 前3Q | 増減額 | 設備投資 ▶当期中の新規出店に加えて、次期以降の出店予定物件を獲得したことなどで、設備投資は336億円（DQ178億円、長崎屋20億円、JAM114億円など：固定資産売却及び敷金保証金回収などを考慮した純増加額は202億円）。キャッシュフローは347億円獲得。積極的な投資活動を行うもフリーCFは11億円プラス。 |
|------------------------|--------|--------|--------|--|
| 設備投資額 | 33,564 | 34,949 | ▲1,385 | |
| キャッシュフロー ^{※1} | 34,666 | 27,219 | 7,447 | |
| 差引 | 1,102 | ▲7,730 | 8,832 | |

※1. キャッシュフロー = 純利益+減価償却費+特別損失-配当金

当期出店状況

フォーマット別店舗数

| | 2015年 6月期 | 2016年 6月期 | 2017年6月期 | | |
|-------------|--------------|--------------|----------|-----|-----|
| | | | 1Q | 2Q | 3Q |
| ドン・キホーテ | ※1 183 | 194 | 195 ※4 | 196 | 197 |
| M E G A | ※2 36 | 39 | 39 | 40 | 40 |
| New M E G A | 41 | 55 | 61 ※4 | 64 | 67 |
| ピカソ | ※3 18 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 驚安堂 | - | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 海外(アメリカ) | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| ドイト | 12 | 14 | 14 | 15 | 16 |
| 長崎屋 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

法人別店舗数

| | | | | | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ドン・キホーテ | 242 | 270 | 277 | 281 | 285 |
| 長崎屋 | 38 | 39 | 39 | 40 | 40 |
| ドイト | 12 | 14 | 14 | 15 | 16 |
| ライラック | - | 3 | 3 | 3 | 4 |
| ダイシン百貨店 | - | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 国内合計 | 292 | 327 | 334 | 340 | 346 |
| D Q U S A | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| M A R U K A I | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 海外合計 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 合計 | 306 | 341 | 348 | 354 | 360 |

※1. 「ドン・キホーテ」には、「ドン・キホーテ」及び「パウ」が含まれております。

※2. (株)長崎屋が運営する業態転換店は、すべて「MEGA」に含まれております。

※3. 「ピカソ」には、「ピカソ」「エッセンス」「エキドンキ」及び「ソラドンキ」が含まれております。

※4. 前期までDQに含まれていた1店を、営業実態に合わせて当1QからNew MEGAに変更しております。

※5. 店舗建替え、移転統合を含み当期中に3店を閉鎖しております。

※6. 上記の他に、1店が店舗建替えのため休業しております。

※7. *は、ソリューション出店であります。

求む！
店舗物件



3月

MEGAドン・キホーテ
豊郷店



3月

MEGAドン・キホーテ *
小山駅前店



2月

ドイトプロ
岩槻店



2月

ドン・キホーテ
神保町靖国通り店



3月

MEGAドン・キホーテ
福岡那珂川店



2月

驚安堂
東松山六軒町店



当期ハイライト

居抜き出店を加速し、店舗ネットワークを全国に展開中。
当3Q累計期間の新規出店数はDQ・MEGAを中心に22店。通期は32店を予定。

| | | 1 Q | | | 2 Q | | | 3 Q | | | 4 Q | | |
|---------|------|--------------------------------------|----------|----------------------|----------------|-----------|-----------|-----|-------------|----------------------------------|------------------------|----------|----|
| | | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
| DQ | DQ | 川西(兵庫) 京都アバンティ(京都)* なんば千日前(大阪) | 南熊本(熊本)* | 境大橋(茨城)* 福岡今宿(福岡) | | 鳥取本店(鳥取) | | | 神保町靖国通り(東京) | | 下館(茨城) あべの天王寺駅前(大阪) | | |
| | MEGA | 日立(茨城) 東海名和(愛知) | 宮古島(沖縄) | 福知山(京都) | 大分光吉インター(大分) | 金沢鞍月(石川)* | 環七梅島(東京)✓ | | | 豊郷(滋賀) 小山駅前(栃木)* 福岡那珂川(福岡) | 津桜橋(三重) | 渋谷本店(東京) | ✓ |
| | ピカソ | | | | | | | | | | | | |
| | 業態転換 | | | かわさき(神奈川) | | | | | | | | | |
| 長崎屋 | | | | | 八千代16号バイパス(千葉) | | | | | | | | |
| ダイシン百貨店 | | | | | | | | | | | | | |
| ライラック | | | | | | | | | 東松山六軒町(埼玉) | | | | |
| ドイト | | | | | 八千代16号バイパス(千葉) | | | | 岩槻(埼玉) | | 西川口(埼玉) | | |
| MARUKAI | | | | | | | | | | | | | |

- 「majica」カードレス・電子レシートサービス開始
- 初の離島(宮古島)出店
- 「熱中症予防キャンペーン」実施
- 監査等委員会設置会社へ移行
- 「majica Premium Global」サービス開始
- 事業所内保育施設「ドンキッズ」開設
- 鳥取県初出店
- 上場20周年
- フロント及びCB行使によりJAM保有比率増加
- ACRが連結子会社から持分法適用会社へ
- 「majica Premium Now」サービス開始
- 資金調達(劣後ローン1,000億円契約、無担保社債100億円発行)
- majica会員数500万人突破

= DQ
 = MEGA
 = ドイト
 = ピカソ
 = エキドンキ
 = ソラドンキ
 = 驚安堂
 = 業態転換
 * = ソリューション出店
 ✓ = (スクラップ) & ビルド店

3Q決算サマリー

「生活必需品需要」でシェア獲得を進め、「インバウンド消費」で押し上げ効果を獲得！
 天候不順や営業日数減少などのマイナス影響を吸収して増収増益達成！！
 営業利益は3四半期連続100億円突破！！

<節約志向に心えて支持拡大 1月>

既存店売上高：2.6%増 客数：2.7%増 客単価：0.1%減

- 寒暖差を味方に季節商品販売好調
- 好調な必需品で1年を好スタート
- 春節休暇でインバウンド活況呈す

<顧客目線の営業施策が浸透 2月>

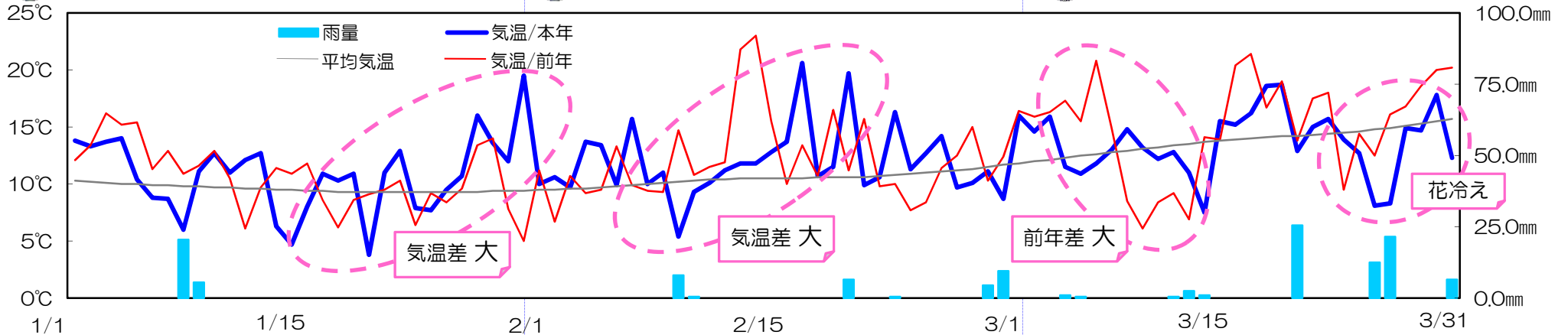
既存店売上高：2.1%増 客数：1.6%増 客単価：0.5%増

- 営業日減少をカバーしプラス成長
- 免税売上高は過去最高金額更新へ
- 価格競争優位で商圈内シェア増進

<粗利改善にギアシフト成功 3月>

既存店売上高：3.2%増 客数：3.6%増 客単価：0.4%減

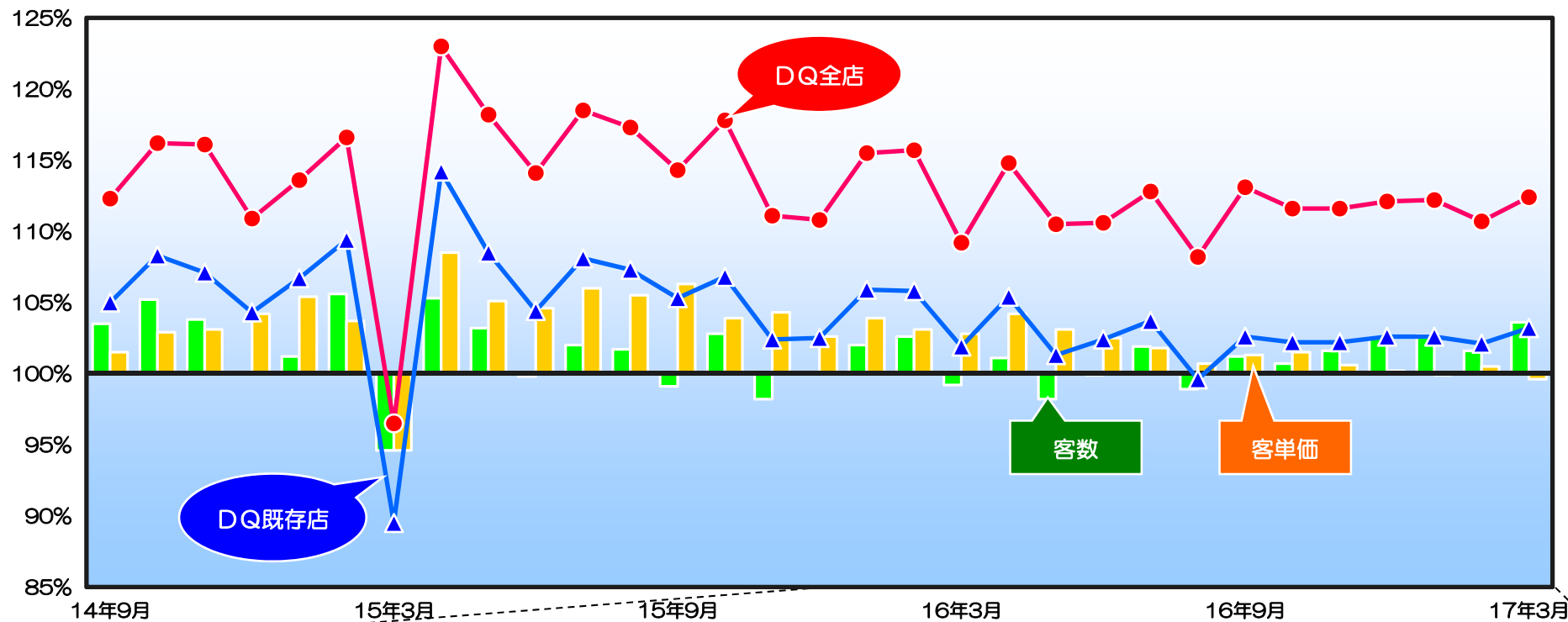
- 低気温が冬物商品の売り切り促進
- 日替わり商況の変化に柔軟に対応
- 早い開花と晴天が花見消費を喚起



<主な出来事>

| 今年 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|--|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ✓トランプ氏が米大統領に就任 (1月20日) ✓春節・旧正月休暇 (中国：1月27日~2月2日) | <ul style="list-style-type: none"> ✓実質賃金が5年ぶりに増加 (厚労省調査) ✓プレミアムフライデー初実施 (2月24日) | <ul style="list-style-type: none"> ✓北朝鮮ミサイルが日本の排他的経済水域に落下 (3月6日) ✓東京が全国で一番早く桜開花 (3月21日) ✓2017年度予算が過去最高額で成立 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ✓沖縄で39年ぶりに雪観測 (1月24日) ✓マイナス金利の導入が決定 (1月29日) | <ul style="list-style-type: none"> ✓TPP署名 (2月4日) ✓長期金利が史上初のマイナスに (2月9日) ✓春節・旧正月休暇 (中国：2月7日~13日) | <ul style="list-style-type: none"> ✓桜の開花日/東京 (3月21日) ✓北海道新幹線 開業 (3月26日) ✓単月訪日入国者数が初めて200万人突破 | |
| <p>出店数 0</p> | <p>出店数 3</p> | <p>出店数 3</p> | |
| <p>出店数 0</p> | <p>出店数 1</p> | <p>出店数 5</p> | |

月次販売高の状況 (DQ)



| 既存店 | 16年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 17年1月 | 2月 | 3月 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 105.9% | 105.8% | 101.9% | 105.4% | 101.3% | 102.4% | 103.7% | 99.6% | 102.6% | 102.2% | 102.2% | 102.6% | 102.6% | 102.1% | 103.2% |
| ・客数 | 102.0% | 102.6% | 99.2% | 101.1% | 98.2% | 99.9% | 101.9% | 98.9% | 101.2% | 100.7% | 101.6% | 102.5% | 102.7% | 101.6% | 103.6% |
| ・客単価 | 103.9% | 103.1% | 102.8% | 104.2% | 103.1% | 102.5% | 101.8% | 100.7% | 101.3% | 101.5% | 100.6% | 100.2% | 99.9% | 100.5% | 99.6% |
| 対象店舗数 | 221店 | 220店 | 222店 | 223店 | 226店 | 232店 | 236店 | 239店 | 236店 | 238店 | 239店 | 240店 | 244店 | 244店 | 245店 |
| 土日休日数差 | +1日 | +1日 | ±0日 | +1日 | -1日 | ±0日 | +2日 | -1日 | -1日 | +1日 | -1日 | +1日 | -1日 | -2日 | ±0日 |

大本営発表コメントや喧しい外野コメントに踊らされず、
 節約志向が高まる消費ニーズに対して、何処よりも早く、何処よりも誠実にお応えして
 3Q累計期間の既存店は2.3%増（客数1.7%増、客単価0.5%増）を達成。

3Q連結損益業績概況

ドンキホーテ HLDGS

【期間：2017年1月1日～3月31日】

(単位：百万円)

| | 当3Q | | 前3Q | | 前期比 |
|----------|---------|--------|---------|--------|--------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | |
| 売上高 | 202,293 | 100.0% | 185,102 | 100.0% | 109.3% |
| 売上総利益 | 53,266 | 26.3% | 49,192 | 26.6% | 108.3% |
| 販管費 | 42,471 | 21.0% | 39,826 | 21.5% | 106.6% |
| 給与手当 | 16,128 | 8.0% | 15,136 | 8.2% | 106.6% |
| 地代家賃 | 5,814 | 2.9% | 5,178 | 2.8% | 112.3% |
| 支払手数料 | 4,583 | 2.3% | 4,535 | 2.5% | 101.1% |
| 減価償却費 | 3,564 | 1.7% | 3,411 | 1.8% | 104.5% |
| その他 | 12,382 | 6.1% | 11,566 | 6.2% | 107.0% |
| 営業利益 | 10,795 | 5.3% | 9,366 | 5.1% | 115.3% |
| 経常利益 | 9,078 | 4.5% | 9,376 | 5.1% | 96.8% |
| 当期純利益 | 10,518 | 5.2% | 5,499 | 3.0% | 191.3% |
| 1株当たり純利益 | 66.50円 | | 34.78円 | | 191.2% |

3Q連結事業別業績概況

ドン・キホーテ HLDGS

【期間：2017年1月1日～3月31日】

(単位：百万円)

| | 当3Q | | 前3Q | | 前期比 |
|------------------------|---------|--------|---------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| リテール事業 ^{※1} | 195,802 | 96.8% | 178,519 | 96.4% | 109.7% |
| 家電製品 | 17,631 | 8.7% | 15,449 | 8.4% | 114.1% |
| 日用雑貨品 | 45,595 | 22.5% | 38,395 | 20.7% | 118.8% |
| 食品 | 69,409 | 34.3% | 60,800 | 32.9% | 114.2% |
| 時計・ファッション用品 | 35,932 | 17.8% | 35,917 | 19.4% | 100.0% |
| スポーツ・レジャー用品 | 10,684 | 5.3% | 10,188 | 5.5% | 104.9% |
| DIY用品 | 3,680 | 1.8% | 3,961 | 2.1% | 92.9% |
| 海外 ^{※2} | 10,163 | 5.0% | 11,167 | 6.0% | 91.0% |
| その他商品 | 2,708 | 1.4% | 2,642 | 1.4% | 102.5% |
| テナント賃貸事業 ^{※1} | 5,100 | 2.5% | 4,953 | 2.7% | 103.0% |
| その他事業 | 1,391 | 0.7% | 1,630 | 0.9% | 85.3% |
| 合計 | 202,293 | 100.0% | 185,102 | 100.0% | 109.3% |

※1. 「報告セグメント」については、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。

※2. 当3Q 1USD=107.6円、前3Q 1USD=121.6円

3Q決算 ここが知りたかった! ?

当3Qにおいて、以下の特殊要因の影響を調整した場合の簡易試算をご参照下さい。
 なお、本試算は会計監査の適用外であり、当社が任意に計算したものであることをご承知願います。

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. DQHD ACRを連結対象会社から持分法適用関連会社に変更 | 5. JAM 所有固定資産売却 |
| 2. DQHD ACR株式の一部売却 | 6. その他 上記1～5に係る関連事項の調整 |
| 3. DQHD ACR子会社ストアークルーズ株式取得 | 7. 税率は前期税率を適用 |
| 4. DQHD 劣後ローン調達の契約 | |

(単位：億円)

| | 当3Q | | | | 前3Q | | 前期比 |
|---------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | 開示実績 | | 前期同一基準 | | 金額 | 百分比 | |
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | | | |
| 売上高 | 6,200 | 100.0% | 6,204 | 100.0% | 5,695 | 100.0% | 108.9% |
| 売上総利益 | 1,639 | 26.4% | 1,643 | 26.5% | 1,521 | 26.7% | 108.0% |
| 販管費 | 1,268 | 20.4% | 1,268 | 20.5% | 1,172 | 20.6% | 108.2% |
| 営業利益 | 371 | 6.0% | 375 | 6.0% | 349 | 6.1% | 107.4% |
| 営業外損益 | ▲11 | ▲0.2% | 10 | 2.0% | 3 | 0.1% | 316.0% |
| 経常利益 | 360 | 5.8% | 385 | 6.2% | 352 | 6.2% | 109.2% |
| 特別損益 | 101 | 1.6% | ▲5 | ▲0.1% | ▲9 | ▲0.2% | 49.4% |
| 税調整前利益 | 461 | 7.4% | 380 | 6.1% | 343 | 6.0% | 110.9% |
| 法人税等 | 141 | 2.3% | 127 | 2.0% | 110 | 1.9% | 115.3% |
| 非支配株主利益 | 50 | 0.8% | 40 | 0.7% | 36 | 0.6% | 113.3% |
| 当期純利益 | 270 | 4.3% | 213 | 3.4% | 197 | 3.5% | 108.0% |

進化するプライベートブランド商品

ドン・キホーテ HLDGS

2016年始動の「PB複数ブランド体制」がますます進化。
価格・品質・機能・デザインに、こだわり抜いた「匠の一品」から、受賞商品も登場！



＜情熱価格＞

情熱
価格



もりおか冷麺
(梅レモン)



生ハムロース



ストロング
ドライレモン



＜情熱価格+PLUS＞

情熱
価格
+PLUS



フロポン



セラブリッドフライパン



＜情熱価格 PREMIUM＞

情熱
価格
PREMIUM

東京西川と共同開発



素肌にやさしい
あったか敷毛布

ビジネスシューズのヒール革命



スライドソールチェンジ



拡張式ジッパーキャリケース

業界最大手
スーツケース
ブランド、
ACEと共同開発



自動ロボット
掃除機

第4回「ジェネリック家電大賞」受賞



ジブン専用PC&タブレット
19,800円(税別)



超形態安定
ワイシャツ



ランニング
ライブカメラ



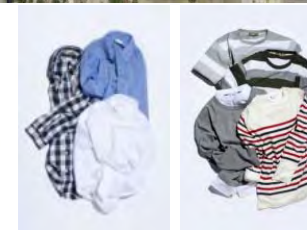
ホーム
バキューマー

RESTORATION

「上質さ」と「トレンド」を
両立したファッションブランド

ACTIVEGEAR

「カッコよさ」と「機能性」を
両立したスポーツ用品ブランド



↑ワイヤレスイヤホン

←防滴ワイヤレス
スピーカー



「ジェネリック家電大賞」とは、国内大手家電メーカー8社以外の中小メーカー商品の品質と安全性の向上、市場拡大を願って優れた家電に与えられる賞です。

機能を必要なものだけに絞ったこと、製造工程を効率化したことにより、驚安価格を実現しました。

苦労したことは、開発パートナーとの原価交渉です。お互いに情熱をぶつけ合い議論を重ねた結果、実現した限界価格です。



商品開発担当



米屋がこだわった
三合ジャー炊飯器
「絶品ごはん」



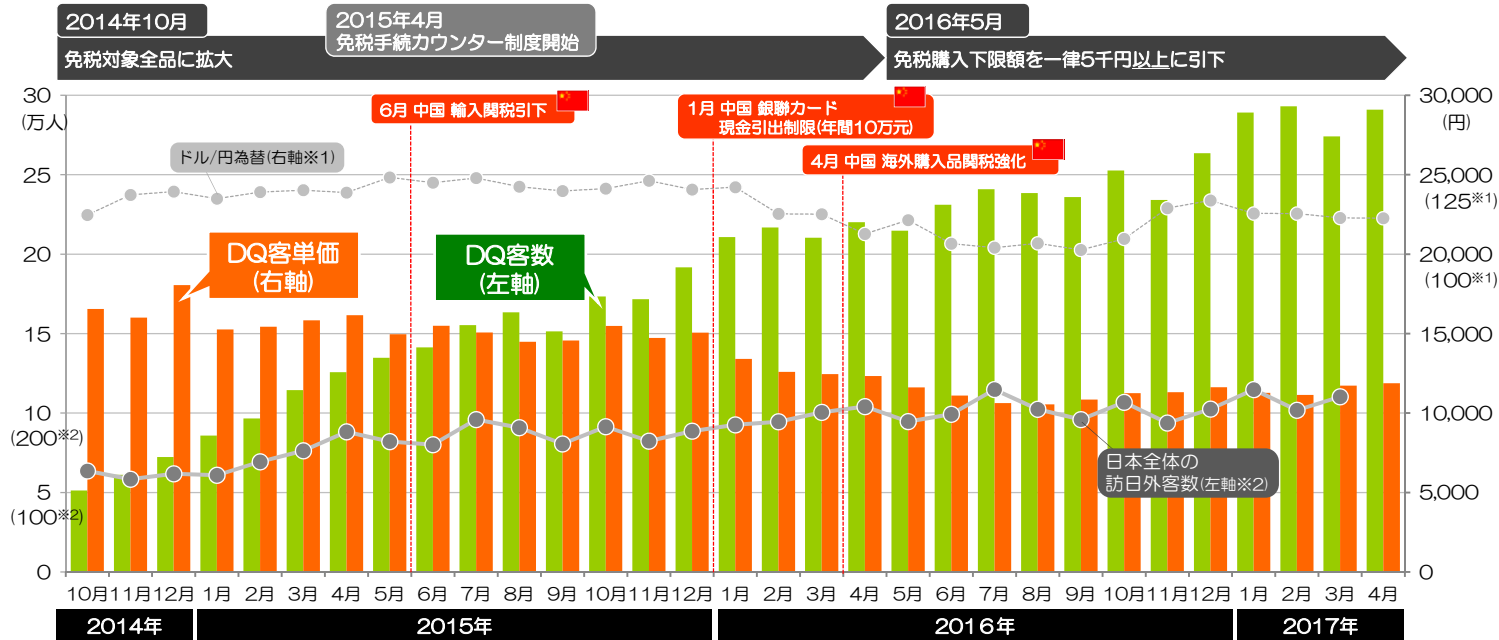
3.5倍の耐久カ
マイクロ
USBケーブル



イソフラボン
化粧水

インバウンド：トレンド

◆ 免税客単価と客数の推移



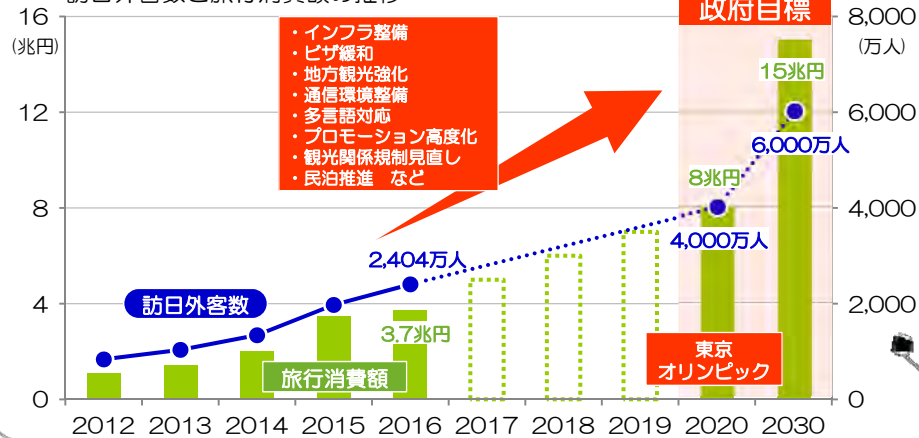
◆ 免税売上高構成比 上位10店

| 順位 | 店舗名 | 免税構成比 |
|----|---------------|-------|
| 1 | 道頓堀御堂筋店 (大阪) | 58.3% |
| 2 | 道頓堀店 (大阪) | 55.6% |
| 3 | 国際通り店 (沖縄) | 48.3% |
| 4 | 中洲店 (福岡) | 44.4% |
| 5 | 新宿東口店 (東京) | 36.7% |
| 6 | なんば千日前店 (大阪) | 34.6% |
| 7 | 銀座本館 (東京) | 34.4% |
| 8 | 札幌店 (北海道) | 32.3% |
| 9 | 京都アバンティ店 (京都) | 28.7% |
| 10 | 名古屋栄店 (愛知) | 26.5% |
| 全店 | | 5.9% |

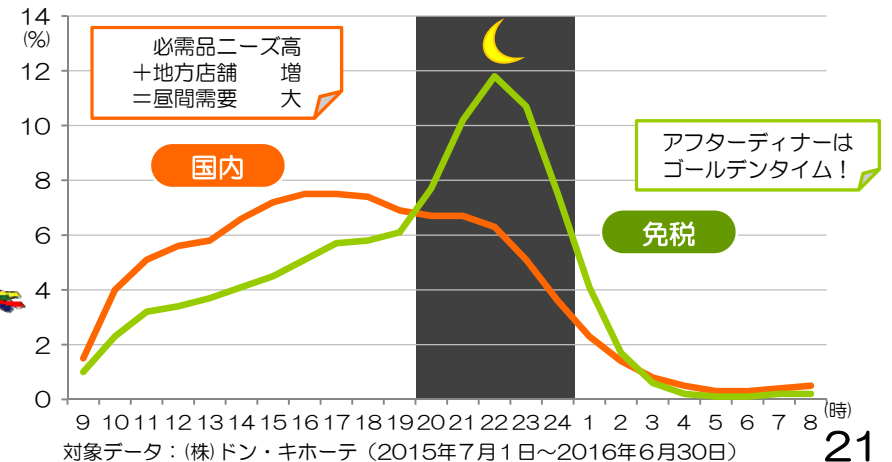
対象データ：
(株)ドン・キホーテ (2016年7月1日～2017年3月31日)

日本のインバウンド状況

訪日外客数と旅行消費額の推移



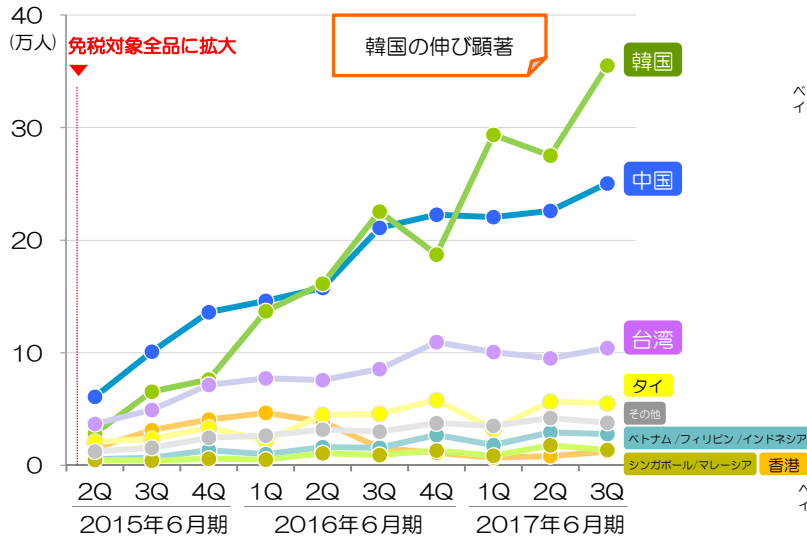
◆ 時間帯別客数構成比



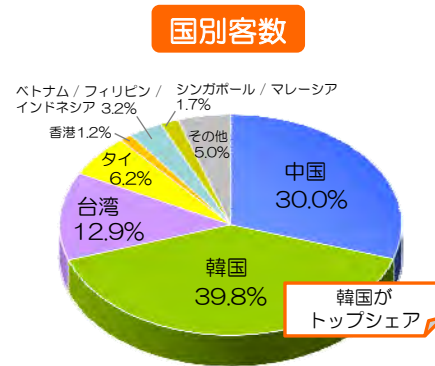
対象データ：(株)ドン・キホーテ (2015年7月1日～2016年6月30日)

インバウンド：国別状況

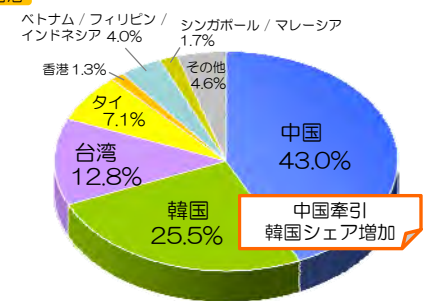
◆ 訪日外国人客数の推移



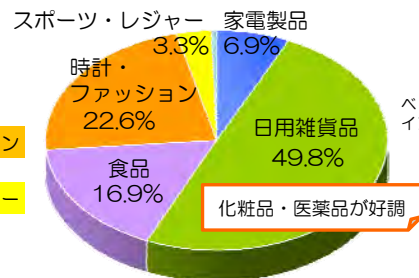
◆ 免税構成比



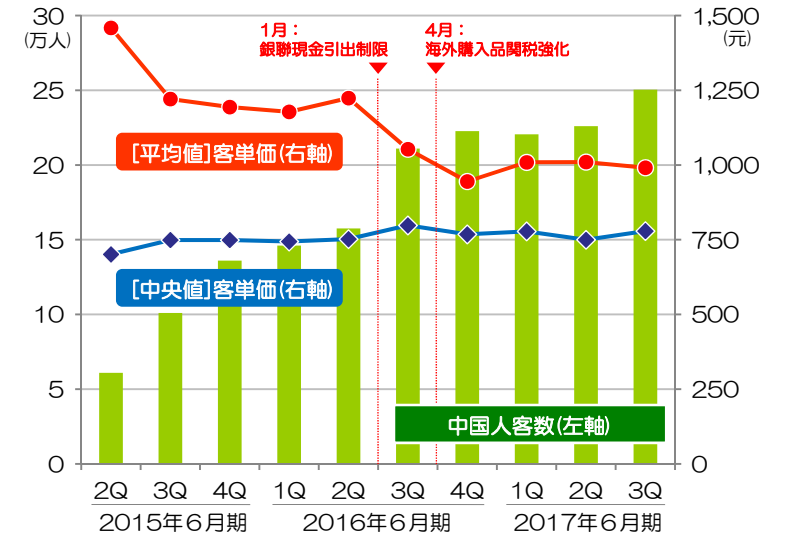
◆ 国別免税売上高



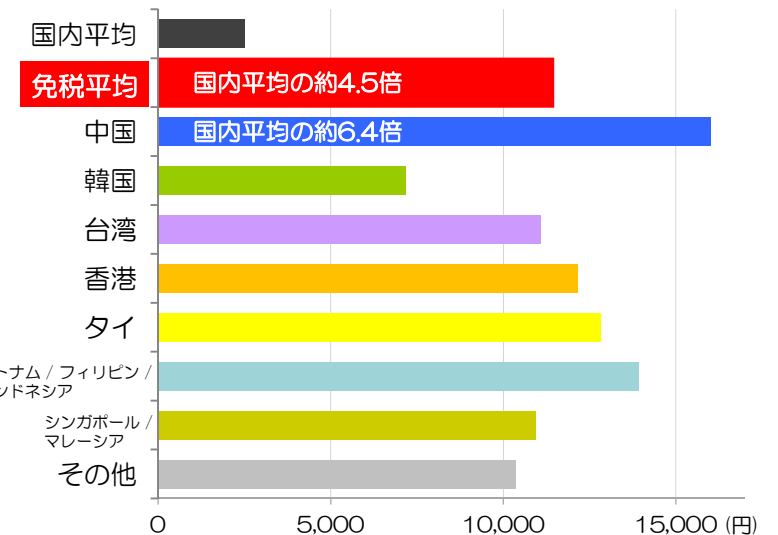
◆ 商品別免税売上高



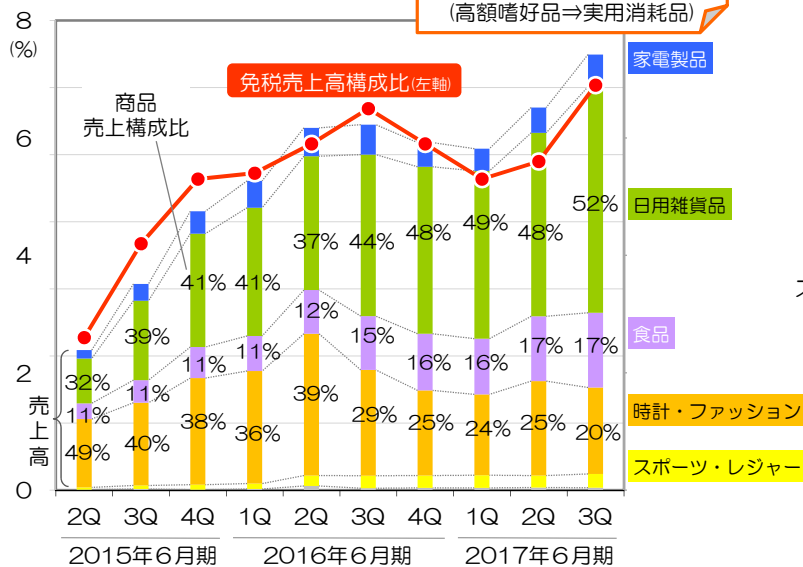
◆ 中国人客単価推移：元換算



◆ 免税客単価



◆ 商品別免税売上高の推移



中長期の重点戦略と当期の施策

ドン・キホーテ HLDGS

— ビジョン2020 —

1. 売上高 1兆円
2. 店舗数 500店
3. ROE 15.0%

—2017年6月期施策—

お客さま満足の最大化を追求しながら、継続的な成長と安定を目指す！

1. 営業方針：

- ・ 商圏内競争を勝ち上がり、収益力拡大とブランド力の底上げを図る
- ・ 素早く柔軟な体制強化のため、いっそう狭くて深い権限委譲を徹底
- ・ インバウンド消費の需要創造と獲得
- ・ スモールメリットとスケールメリットの両立

2. 商品戦略：

- ・ 付加価値の高いディスカウント体制の一層の強化
- ・ 儲ける力を持ち、スピード感のあるMD立案と実行
- ・ 生活必需品の品揃え強化と徹底したEDLPの推進

3. 店舗戦略：

- ・ 設備投資額450億円
- ・ 新規出店32店、DQ・MEGA店とも個店力を強化し、全国ネットワーク形成
- ・ DQ既存店売上高予想：3Q累計実績＝2.3%増、4Q予想＝0.0%増、通期＝1.7%増

4. 人事戦略(雇用改定5ヵ年計画の推進)：

- ・ 多様性を認める企業文化を堅持
- ・ 多様な雇用形態の創出
- ・ 権限委譲とノンストレス型職場環境づくりの両立

5. 財務戦略：

- ・ 資金効率及び収益力を高めてバランスシートを改善、1USD＝105円前提
- ・ デットによる資金調達を実施（エクイティ調達の予定無し）
- ・ 年間配当金予想＝23円00銭（14期連続増配予定！）

通期の連結業績予想

ドン・キホーテ HLDGS

(単位：百万円)

| | 通期修正予想 | | | 前回予想 ※1 | | 前期実績 | |
|----------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 金額 | 百分比 | 前期比 | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 |
| 売上高 | 822,000 | 100.0% | 108.2% | 820,000 | 100.0% | 759,592 | 100.0% |
| 売上総利益 | 217,500 | 26.4% | 107.7% | 218,000 | 26.6% | 201,893 | 26.6% |
| 販管費 | 172,000 | 20.9% | 108.4% | 173,000 | 21.1% | 158,708 | 20.9% |
| 営業利益 | 45,500 | 5.5% | 105.4% | 45,000 | 5.5% | 43,185 | 5.7% |
| 経常利益 | 44,800 | 5.5% | 102.3% | 45,500 | 5.5% | 43,797 | 5.8% |
| 当期純利益 | 31,500 | 3.8% | 126.3% | 27,500 | 3.4% | 24,938 | 3.3% |
| 1株当たり純利益 | 199.15円 | — | 126.2% | 173.88円 | — | 157.76円 | — |
| 設備投資額 | 45,000 | — | 87.3% | 45,000 | — | 51,570 | — |
| 減価償却費 | 14,300 | 1.7% | 107.5% | 14,700 | 1.8% | 13,301 | 1.8% |

※1. 前回予想は、2017年2月6日に当初予想（売上高8,200億円、営業利益450億円、経常利益455億円、純利益268億円）を見直し、純利益予想を修正したものであります。

「顧客最優先主義」と「企業価値の拡大」を追求し、
 ディスカウント体制の一層の強化を進めながら、
 引き続き増収増益決算を目指します。

上場子会社決算業績概況

日本アセット
マーケティング
(8922)

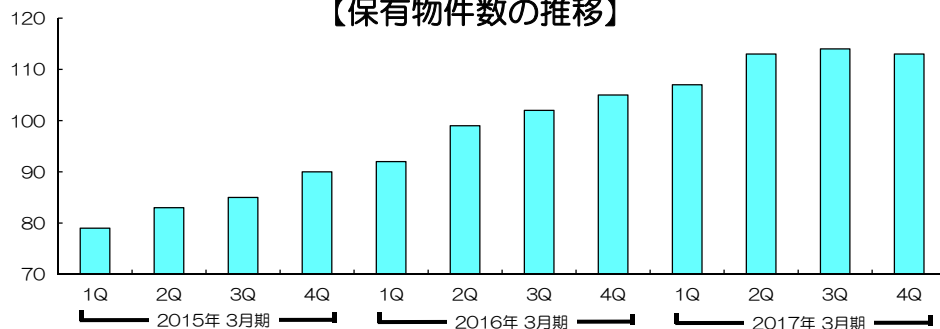
(単位：百万円)

| 【PL概況】 | 2017年3月期 | | | 2016年3月期 | |
|--------|----------|--------|--------|----------|--------|
| | 金額 | 百分比 | 前期比 | 金額 | 百分比 |
| 売上高 | 17,896 | 100.0% | 111.6% | 16,035 | 100.0% |
| 売上総利益 | 8,065 | 45.1% | 114.4% | 7,050 | 44.0% |
| 販管費 | 683 | 3.8% | 247.5% | 276 | 1.7% |
| 営業利益 | 7,382 | 41.2% | 109.0% | 6,773 | 42.2% |
| 経常利益 | 6,779 | 37.9% | 108.9% | 6,224 | 38.8% |
| 当期純利益 | 11,120 | 62.1% | 198.1% | 5,612 | 35.0% |

(単位：百万円)

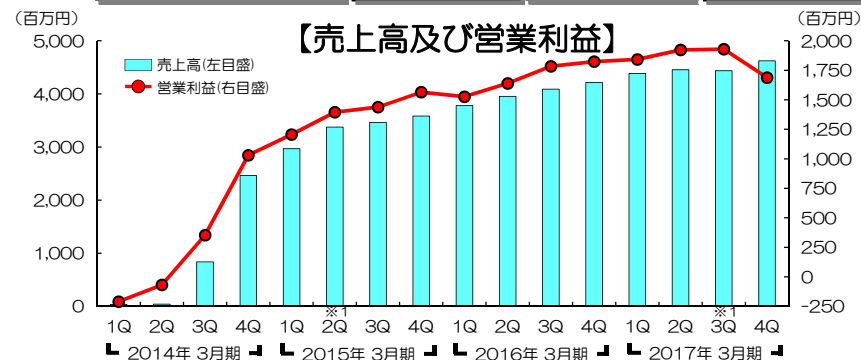
| 【BS概況】 | 当4Q末 | | 前期末 |
|--------|---------|---------|---------|
| | 金額 | 増減 | 金額 |
| 流動資産 | 28,631 | 14,533 | 14,098 |
| 固定資産 | 116,811 | 22,695 | 94,116 |
| 資産合計 | 145,442 | 37,227 | 108,215 |
| 流動負債 | 15,822 | 2,160 | 13,662 |
| 固定負債 | 64,860 | ▲16,221 | 81,081 |
| 負債合計 | 80,682 | ▲14,062 | 94,744 |
| 純資産合計 | 64,759 | 51,288 | 13,471 |

【保有物件数の推移】



※ JAMは子会社の取得に伴い、2017年3月期3Qより連結決算に移行しております。
なお、前期との比較については非連結決算数値との単純比較になっております。

【売上高及び営業利益】



※1. 2015年3月期2Qより非連結決算、2017年3月期3Qより連結決算となっております。

ドン・キホーテグループの積極的な新規出店に連動して、収益力増強！

本日はありがとうございました

ドンキホーテ HLDGS

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ドンキホーテホールディングス IR部

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-19-10

TEL：03-5725-7588 FAX：03-5725-7024

e-mail：ir@donki.co.jp

IRカレンダー

第37期（2017年6月期）決算発表（予定）

決算発表日：2017年8月15日（火）

説明会会場：野村コンファレンスプラザ日本橋（東京都中央区日本橋室町2丁目4番3号 日本橋室町野村ビル6F）

将来見通しに関する注意事項

本資料におきましては、投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、お客さまご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

ドン.キホーテ HLDGS